



政策決定は丁寧な説明で
1人でも多く合意を
宮川 大樹(みやくわ たけし)



問／県が事業主体で上越市に建設予定の広域最終処分場の4次選定が先般発表され、茶屋ヶ原1か所、柿崎区竹鼻・下中山付近の3か所、同区下小野1か所の計5か所の候補地が示された。県は、この中から最終的な候補地を決めたいとしているが、市はどのように関わっていくのか。

答／県では、令和3年4月から候補地の町内会及び町内会長連絡協議会、地域協議会への説明会を開催しており、市としては、引き続き、より多くの方々からご理解をいただけるよう、県と議論を重ねながら、取組を支援していきたい。

問／保倉川放水路について、関川流域委員会では令和3年3月に頸城区下三分一から夷浜を通る西側ルートが決定した。保倉川放水路の進捗について聞きたい。

答／保倉川流域の治水安全度の向上は、喫緊の課題として、地域の皆様と丁寧な話し合いを重ねながら、国に対して一刻も早い事業化を強く働きかけるとともに、国・県と連携しながら放水路整備に伴う「まちづくり」に取り組む。

問／四・九の市における出店場所の集約の経緯はどうか。

答／出店者数の減少を受け、市場の活性化と来場者の利便性向上を図るため、上越朝市組合と共に関係する町内会や出店者の方々と市の三者で協議し決定した。



マイナンバーカード
普及の先にある近未来
ストラットン 恵美子(みづの るみ)



問／国が導入した「マイナンバー事業」の申請受付期間延長により、市内の申請は進んだか。

答／制度が始まった平成28年1月から令和元年度末までの申請率は13%であったのに対し、令和2年度はその2・3倍の30・6%に急増した。

問／今後のマイナンバーカードの利用促進は。

答／上越市ICTによる情報化推進基本方針の策定を目指し、現在検討を重ねている。オンラインでの本人認証は、利用者目線に立ったシステム設計になるよう配慮する。

国際社会に向け、幼児期から英語に触れる！

問／幼児に対する歌や絵本の読み聞かせなどの英語言語による情操教育普及への見解はどうか。

答／市が運営する保育園・幼稚園に関して現時点では導入を考えていない。幼稚園や保育園の管理・運営団体や関係機関と情報共有しながら、普及の可能性について調査・研究していく。

問／市独自で小学校低学年からフォニックス等の英語教育を取り入れる意向はないか。

答／英語の音声に触れる機会を設けられるよう取り組んでいる。今後も英語に慣れ親しむ機会を拡充していく。

※フォニックス：英語において綴字と発音との間に規則性を明示し、正しい読み方の学習を容易にさせる方法の一つ。英語圏で主に使われる教育法。



公のスポーツ施設の
整備はいかに
いとうい 彰治(市民クラブ)



問／新野球場建設の計画はどうなっているのか。

答／令和5年度に向けて検討し、上越市公の施設の適正配置計画へも掲載する。

問／高田城址公園陸上競技場西側スタンドの今後の整備計画はどうか。

答／次期総合計画や財政計画などの策定時に合わせて検討する。

問／やぶの川辺公園内にソフトボール場を整備する考えは無いか。

答／新たな施設の建設の必要性を含め検討する。

金谷山公園に新たなスポーツ施設等の整備を

問／金谷山公園内にクロスカントリーコースやマウンテンバイクコースの整備をする考えは。

答／整備する考えは現時点で持ち合わせていない。各種団体がクロスカントリー等の大会やイベントの開催を検討される時には、協力したい。

問／儀明川ダムの将来の本体工事着手時に、ダムの展望も望める観光ルートを整備する考えは。

答／具体的な構想等は持ち合わせていない。

昨冬の豪雪災害の検証は

問／狭隘道路や生活道路への支援制度の検討は。

答／町内会長への調査結果を基に検討を進める。
問／市と県の歩道除雪出動基準を統一しては。
答／国・県と連携し通学路の安全確保に努める。